

**ご意見をお寄せください**

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。

TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918  
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp  
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

# 自治労きよと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F  
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩明  
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

10/11  
2002  
第422号

## 新しい仲間の期待にこたえ 自治労運動を京都で展開

### 木村委員長あいさつ (要旨)



▲あいさつする木村幹雄  
府本部執行委員長

自治労不祥事事件は大きなショックだったが、再生プログラムが実践に移され、名実ともに日本一クリーンでクリアな労働組合に生まれ変わったと自信をもって語る。

市町村合併は、地方分権の推進を具現化するものとして、各単組の主体的な取り組みをバックアップしたい。また自治労にとっては組織の存続がかかった課題であるとの認識で取り組み、自治労運動を地域に示し、社会的に責任を果たせる労働組合として支持と組織拡大を図っていかねばならない。府本部に結果

した新しい仲間の期待に十二分にこたえられる差別運動を京都で展開することを改めて決意する。

賃金闘争については、低成長期の経済闘争、民間労働組合の賃金闘争の組み合わせ方など基本的な方針を確立させ、社会における労働組合の責務を明確にしなければならぬ。

男女平等、環境、反戦・平和、人権など、多岐にわたる政策の実現を勝ち取るためにも来春の統一自治体選挙は重要な選挙。組織内候補をはじめ推薦候補の必勝に向けて取り組みを強化する。

## 統一自治体選挙必勝へ取り組み強化



▲2003年度へ決意新たに「団結がんばろう」を三唱する府本部執行部

府本部は九月二十六日(土)ラホール京都で第六十五回定期大会を開き、代議員・傍聴者百三十人が出席した。(代議員の女性参加率は二五・〇%)大会ではマイナス入動の下での確定闘争、急速に進行する市町村合併、十一月末に山場を迎える公務員制度改革、来春の統一自治体選挙などの取り組みについて熱心な討論が展開された後、すべての議案が圧倒的多数で可決された。

大会は議長団に谷口(城南労働)、中野(学職労)両代議員を選出し議事に入った。木村幹雄委員長の主催者あいさつ、上部団体や組織内議員、各政党から連帯のあいさつの後、京都労働組合の南青委員長と久保田書記長が登壇、自治労の仲間として奮闘する決意

## 府本部第65回定期大会

公務員制度改革  
市町村合併など

## 直面する諸課題の方針提起

# 今こそ公共サービスの総結集を

府本部は九月二十六日(土)ラホール京都で第六十五回定期大会を開き、代議員・傍聴者百三十人が出席した。(代議員の女性参加率は二五・〇%)大会ではマイナス入動の下での確定闘争、急速に進行する市町村合併、十一月末に山場を迎える公務員制度改革、来春の統一自治体選挙などの取り組みについて熱心な討論が展開された後、すべての議案が圧倒的多数で可決された。

大会は議長団に谷口(城南労働)、中野(学職労)両代議員を選出し議事に入った。木村幹雄委員長の主催者あいさつ、上部団体や組織内議員、各政党から連帯のあいさつの後、京都労働組合の南青委員長と久保田書記長が登壇、自治労の仲間として奮闘する決意

〇二年度一般経費報告と会計決算報告の提案に対して、四単組が討論に参加、全体の拍手で承認された。

続いて第一号議案「二〇〇三年度運動方針案」、第二号議案「当面の闘争方針案」、第三号議案「二〇〇三年度一般会計・特別会計予算案」、第四号議案「府本部規約第二十八条の一部改正について案」が提案された。

経過報告での発言は①国保労組から賃金合理化提案に対する取り組みの福知山公企労組から福知山市長選挙のお礼②京田辺市職から公平委員会の登録について③自治労野町職からシンポジウムの報告があった。

運動方針に対して①山城町職から市町村合併の

取り組み、確定闘争の自治労職から知事選挙、組織闘争、平和の取り組み、政治闘争③国保労組から医療制度改革の闘い④八幡市職から賃金闘争⑤自治労京都市職から人事委員会勧告の評価、統一自治体選挙、全国清掃集会などの意見が出された。(2面に関連記事)

## 単組から活発な討論参加

取り組み、確定闘争の自治労職から知事選挙、組織闘争、平和の取り組み、政治闘争③国保労組から医療制度改革の闘い④八幡市職から賃金闘争⑤自治労京都市職から人事委員会勧告の評価、統一自治体選挙、全国清掃集会などの意見が出された。(2面に関連記事)

## 2002秋季闘争 11月26日戦術集中日

# 減額調整阻止へ全国闘争

## 公務員制度改革 11月末に1万人集会

自治労は九月三十日、第一回拡大闘争委員会を開催。確定闘争、公務員制度改革、現実・公企統制闘争など二〇〇二秋季闘争の取り組みを確認した。

史上初のマイナス給与勧告と「大綱」に基づく来春の公務員法改正案の

国会上げ、退職手当引き下げ問題が大きな課題だ。自治労は、国会に上程される給与法案に対して、不利益不遡及の原則に基づき、一時金減額調整の不当性の追求と法案修正を求め全国統一闘争を推進する。各単組は十月月中旬以降、単組

の交渉、県・市町会との交渉を強化する。

現実統一闘争日の十一月八日には決起集会などを実施、対自治体闘争の山場を十一月十九日から二十六日、戦術集中日を二十六日として、十二月二十六日、一月実施をめざす。

公務員制度改革の取り組みは、達成した二千万請願署名の国会審議とILO勧告時期を山場として、大綱の法制化反対、労働基本権の確立をめざし闘いを進める。十月十七日には中央総決起集会を、臨時国会冒頭の十八日には請願署名の最終集約分を国会に提出。ILO勧告が予定される十一月下旬の二十六日から二十九日を上京行動期間とし、二十九日には二万人規模の中央集会と全国統一行動に取り組む。

公務員制度改革の取り組みは、達成した二千万請願署名の国会審議とILO勧告時期を山場として、大綱の法制化反対、労働基本権の確立をめざし闘いを進める。十月十七日には中央総決起集会を、臨時国会冒頭の十八日には請願署名の最終集約分を国会に提出。ILO勧告が予定される十一月下旬の二十六日から二十九日を上京行動期間とし、二十九日には二万人規模の中央集会と全国統一行動に取り組む。

## 双思交

ようやく通  
ごしやくすい秋  
の到来であ  
る。昨年の秋  
は米国テロ事  
件、自治労不  
祥事と憂うつ  
な記憶しかない。さて今  
年は? という米国の  
ラク攻撃準備や北朝鮮拉  
致問題、株バブル以降  
最安値etc. 今年もパ  
ツとしないことの上な  
い憂うつな気分はさて  
おき、今の自治労が直面  
する課題は、二十年分位  
の課題と困難性があると  
某単組委員長が言って  
いたが、自治労再生に向  
け不祥事に一定の区切り  
をつけ、新たな一歩を踏  
み出した自治労本部大会  
や、方針の承認を含め当  
面する具体的活動内容を  
確立する府本部大会も終  
了した。しかし、人事院  
のマイナス勧告による本  
年確定闘争の取り組みや  
公務員制度改革に対する  
実効ある対応、さらには  
府本部内の組織対策な  
ど、自治労は焦眉かつ多  
くの大課題を抱えてい  
る。現在の社会状況は賃  
金水準ひとつ取ってみて  
も戦後初めて経験する危  
険水域に入ったといえ  
る。本部大会や府本部大  
会の議論も当面の闘争課  
題に集中していたことか  
ら「運動の停滞は許され  
ない」との思いを強くす  
る今日この頃である。

大切な「もの」のため!!

自治労共済

- 総合共済 基本型・大型
- 火災共済
- 自動車共済
- 愛車見舞金共済



府本部第65回定期大会

新たな運動スタートへ  
来賓から次々エールが



▲激励にかけつけたハンス・エンゲルベルツ PSI書記長(左)、ウルフ・エドストレームILO理事(中央)、ロバート・ハリスE1事務局長上級顧問

「大きな団結」信じ  
初心に振り返り奮闘を

自治労本部あいさつ  
井ノ口登 国際局長

悪夢のような事件から一年が経過した。自治労本部は直任を深く認識し、二度と不祥事を起こさない組織につくり上げたい。



新副委員長に丹波栄子さん  
新執行委員に田畑勝久さん  
2002・2003年度役員補充選挙



▲あいさつする丹波副委員長(左)と田畑執行委員

◆議長/中野乃里子(学職労) 谷口富士夫(城南衛管) ◆大会書記長/杉本執行委員 ◆大会書記/佐野書記 ◆議事運営委員/松本行弘(自治労網野町職) 奥田小春(学給労) 小川裕司(山城町職) 栗山執行委員 ◆資格審査委員/大西健二(福知山市職) 高橋直樹(自治労京都市職) 脇本和弘(井手町職) 花岡執行委員 ◆選挙管理委員/大槻訓宏(福知山公企) 佐藤邦弘(国保労組) 佐々木秀夫(学職労) 小田原文(宇治田原町職) ◆財政小委員会委員長/北村英司(八幡市職)

PSI書記長が激励  
各団体からメッセージも

来賓には自治労本部のほかに、羽室武夫参議院議員、京都府、京都市、解放同盟京都府連、民主党、社民党、公明党、近畿労働金庫、京都自治労連の方々が出席した。

また、PSI(国際公務員)のハンス・エンゲルベルツ書記長、ILO(国際労働機関)のウルフ・エドストレーム理事、E1(教育インスターナショナル)のロバート・ハリス氏が入席、ハリス氏は「ILOへ提訴している公務員の労働基本権問題について世界的に連携して支援する」と激励した。



▲大会議長の2人

九月二十八日、府本部・介護福祉ユニオンは第11回ケアワーカー交流会を府本部会議室で開いた。今回から「栄養学」をテーマに南幸・桜井女子短期大学教授を講師に迎え連続三回開催する。

高齢者は好きなものをおいしく

府本部第11回 ケアワーカー交流会 栄養学テーマに連続講座

次回は10月19日  
「高齢者の栄養」

第一講座「栄養学・基礎」は対話を交えながらの講演。基本はいかにおいしく食べるか。栄養剤よりも、米や肉・魚、野菜をバランスよく食べることが、高齢者も好きなものをおいしく食べることが一番、と改めて納得。引き続き「高齢者の栄養」(症例別の栄養)をテーマに連続して聞く。単組や社協・福祉施設で働くヘルパーなどの参加とともに、組合員・家族、高齢者の参加も歓迎する。



▲栄養学をテーマに南教授が講演

新執行部  
紹介

特別執委 若狭 朝明  
特別執委 市川 朝寿  
監査委員 井上 利行  
監査委員 藤林 英和  
監査委員 辻本 伸洋  
選挙委員 滋井 邦明  
選挙委員 山田 美智子

新団生の募集開始

自治労セット共済  
11月1・2日説明会、11月22日締切

十一月二十二日を健康確認日(締切日)に、自治労セット共済の募集が開始され、あわせて組合員の募集も始まる。特に来年度四月発効の団体生命共済は、厚生労働省認可事業として新しい「団体生命共済」に生まれかわる。この新しい団体生命共済は組合員同士の助け合いの精神を生かしながら、普通死に保障五千万円、災害死に保障八千万円と大きな保障も制度化切り替え募集となるため、例年に比べ一カ月程度締め切りが早まっているので注意を。



木津町職員組合  
委員長 駒野 弘子  
副委員長 三樹 啓作  
副委員長 植山 一男  
書記長 駒 文 敬  
書記次長 武田 浩文  
執行委員 滋井 佐知子  
執行委員 富井 利昌  
執行委員 遠見 和紀  
執行委員 森 徹  
執行委員 樋口 加奈子  
執行委員 藤田 貴也  
執行委員 前田 啓三  
執行委員 芝原 利晃  
執行委員 山田 一也  
執行委員 北川 裕香子  
執行委員 武田 美奈  
執行委員 多郷 成宜  
執行委員 加納 朋子  
執行委員 川端 和子  
執行委員 安田 和弘  
自治労網野町職員組合  
委員長 吉岡 敬恭  
副委員長 中川 正明  
副委員長 岡本 和子  
書記長 橋本 直樹  
書記次長 橋本 直樹  
執行委員 松本 行弘  
執行委員 尾江 信一  
執行委員 野村 俊彰  
執行委員 志水 文浩  
執行委員 松田 吉正  
執行委員 藤原 純子  
執行委員 谷口 有香  
執行委員 大橋 恭子  
会計監査 吉岡 喜代和  
会計監査 河田 英雄

井手町職女性部は「女性労働者年休・生体取得状況調査」の結果で生体取得が低い状況が明らかになり、「母性保護」について今一度考えてみようという趣旨で、九月九日に学習会を開催。女性が自分の体のことを知った上で「美しく健康で働き続けられる」ように、体を動か

かかると、緊張しっぱなしの情勢で密社会には最良の健康法」との話がありました。全員が太極拳は初体験で、手と足の動きを覚え、呼吸法も加わり、きこえない動きを繰り返して、教室内は笑いに包まれましたが、快い汗をかいたことが、そして生活や仕事の状況と体の調子の関係をよく観察し、自分を追い詰めないように「健康で働き続けるためには何が必要か」という原動力に立ち返ることができました。

「大きな団結」信じ、初心に振り返り奮闘を。悪夢のような事件から一年が経過した。自治労本部は直任を深く認識し、二度と不祥事を起こさない組織につくり上げたい。九〇年三月二日に再建した府本部は「小さな団結か、大きな団結か」をスローガンに各自自治体で自治労の旗を立ててきた。今は小さいかも知れないが自治労の組織になることで大きな団結になると呼びかけた。今振り返っても、そのことが正しかったと信じる。初心に返って今後も奮闘してほしい。単組には組合ができた理由があり、野田